

子どもたちのいきいきとした手の動き。

“触れる”を通してつくられた作品たち。

すべての作品に触れて鑑賞することができます。

大切なものに触るように、友人と語らうように、

“触れる”を通して鑑賞を楽しんでください。



# “触れる”アート GINZA 2024

— 触覚から広がる空間芸術の世界 —



出品学校：

大分県立盲学校

神奈川県立伊勢原支援学校伊志田分教室

神奈川県立平塚盲学校

筑波大学附属視覚特別支援学校

2024. 1.21 (日) - 2.3 (土) | 美術会館ギャラリー青羅 |



水曜休館 | 平日 11:00 - 17:00 (土日は19時まで) | 初日 13:00 から・最終日16:30 まで

主催 筑波大学芸術系宮坂研究室

共催 東海大学松前記念館、株式会社美術会館ギャラリー青羅  
東海大学ティーチングクオリフィケーションセンター

協力 大分大学教育学部美術講座、黒谷美術株式会社  
ともいきアートサポート事業 (神奈川県)、東京福祉大学武本研究室

アートコーディネーター 町野紗恭 (筑波大学大学院芸術学学位プログラム)  
田中実紀 (東海大学大学院文学研究科日本文学専攻)



本展覧会は、JST次世代研究者挑戦的研究プログラム JPMJSP2124 の支援を受けた研究・取組、国立民族学博物館との共同研究、及びサントリー文化財団研究助成「学問の未来を拓く」の支援を受けた研究プロジェクトの一環です。

ごあいさつ

本展は、“触れる”を通してつくられたアートの展覧会です。

2021年からここ銀座ギャラリー青羅で子どもたちの作品展示を行い、  
今回が4回目の展示となります。

2024年のこの展示には、大分県立盲学校、神奈川県立伊勢原支援学校伊志  
田分教室、神奈川県立平塚盲学校、筑波大学附属視覚特別支援学校の4校  
が参加し、会場には幼児・児童・生徒たちの作品が並びます。

この展覧会は「誰もがそれぞれの立場から楽しむことのできるアートプロ  
ジェクト」を軸としています。アートは自由で、柔軟で、心を豊かにして  
くれるものです。この展覧会では、“触れる”実感を通して開かれている  
アート本来の姿を確認し、ユニバーサルなその在り方を探究します。

本展覧会の開催に際しては、株式会社美術会館ギャラリー青羅 池田様をは  
じめ、多くの方にご支援を賜り、心より感謝を申し上げます。今後とも、  
アートプロジェクトとともに触れるアートの場が広がっていけば幸いです。

皆さま、どうかご高覧賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

2024年1月

“触れる”アート展 関係者一同









